



ケース スタディ

BRIDGESTONE

ブリヂストンにとって
「大切なこと」は、イノベーション
ギャップを解消すること

Do what matters

すでに全社員を対象にイノベーションを推進しているブリヂストン EMIA（以下、ブリヂストン）の次なる目標は、インパクトのあるアプリケーションを開発できるような環境を整え、チームが必要とするソリューションの構築に自発性を促すことでした。この高級タイヤ メーカーでは **Microsoft Power Platform** のライセンスを持っていましたが、未開拓分野への挑戦に支援を必要としていました。

Power Platform の全機能を使いこなすことにより、目に見える形で成果を引き出すことができました。

ワンチームの考え方を大切にして、エコシステム全体を視野に入れながら、従業員と顧客の双方を常に意識しつつ、オープンなコミュニケーション、柔軟性、ミッションへの一体感を重視して取り組みました。

変革の力となるもの

ヨーロッパのブリヂストン メインオフィスは、すでに地域別、グローバルともにタイヤ製造業界をリードする立場にあります。コロナ過では、例えば“花火”が次々と打ちあがるように、社員のアイデアが活発に生まれる環境を目指し、「Hanabi」という名称のイノベーション プログラムを立ち上げました。これには、Power Platform の認知度を向上させること以外にも、従業員の効率性やカスタマー サービス担当者をスーパーチャージできるようなアプリケーションの開発を検討することも目的に含まれていました。主役は従業員で、テクノロジーはその次です。

それまで多くのグループでは、小規模なプロジェクトや会社に要望を伝える際には、一時的な対応として Excel を使用していましたが、さらに規模を拡大できるようなソリューションが必要でした。また、**Microsoft 365** 導入以降は特に、ブリヂストンが社内で使用していたアプリケーションには、従業員の業務をより強力に支援したり、機能をさらに強化できる可能性があることもわかっていました。そのため、Power Platform の機能を最大限に引き出すとともに、アプリケーション戦略についてインサイトを提供してくれる信頼できるパートナーを求めていました。

ブリヂストンは、業務を効率化するアプリケーション開発のためにこのプラットフォームへの理解を深めるだけでなく、最近立ち上げた Center of Excellence の開発サポートに関する専門性も求めていました。この組織は、従業員のことを思いやり、アプリケーションの開発を促進して、ベスト プラクティスにも注目できるようにと設立されたものです。

社内アプリケーションの試験運用を行うことで、従業員にその実用性を示すために、まずはコロナ後のオフィス復帰をサポートする「Be Welcome アプリ」を作成しました。この他にもブリヂストンでは、大規模なデジタル革命などではなく、Power Platform を活用してサステナブルにビジネスを行うためのデジタル化について調整を重ねていきました。

企業名:ブリヂストン EMIA

所在地:ベルギー

従業員数:20,000 名以上

業界:自動車、製造業

導入ソリューション: Microsoft Power Platform

イノベーションへの推進力

ブリヂストンは、以前よりマイクロソフトと協業関係を構築していました。また、従業員がデジタル化に向けた取り組みをより主体的に行い、その可能性を前向きに受け入れられるように支援することが重要だと捉えていました。「Hanabi」アプローチとの連携を推進し、ミッションに掲げている社会貢献、そして「従業員」支援には格別な気持ちを込めて、これを実践していきました。

ブリヂストン では、長期的なアプリケーション開発計画を本格的に推進できる準備が整っていたため、アバナードは、Power Platform の機能を最大限に活用し、革新的かつユニークなアプリケーションの構築を全社的に推進することに焦点を当てました。お客様とこれまでに築いてきた独自の文化や伝統を踏まえ、コクリエーション（共創）、コラボレーション、イノベーションを Power Platform のエコシステムを支える柱として意識し、プロジェクトを開始しました。

お客様との共同アプローチとガバナンス アセスメントにより、4 つのインパクトあふれるアプリケーションを構築、または再構築することができました。アイデア ワークショップでは各チームに主導を任せ、アバナードがそれぞれのアプリケーションを確認し、再始動できる可能性を見極めていきました。従業員は、**アバナードのアドバイザー**が主催するワークショップでトレーニングを受けながら、市民開発者は「Power Apps を活用して、何ができるのかを理解すること」にフォーカスし、技術開発者は「個人でアプリケーションを開発する方法」に焦点を当てながら、アプリケーション開発を進めていきました。

ブリヂストン チームは、組織全体で活用できるアプリケーションを構築しました。従業員のウェルビーイング改善や、製品管理の強化を目指すことで、各アプリケーションでデータを活用するという目的を反映できているほか、顧客のための価値創出や日常業務にもしっかりと結び付いた内容となっています。

ブリヂストンの従業員が開発したアプリケーションを、以下に紹介します：

- B-Health: 製造プラント内の空気、騒音、健康状態や安全管理情報を収集する安全性の高いソリューションで、傾向を把握し、問題発生時にはフラグを立てる
- 請求書管理プラットフォーム (LOIS) : 法務部門のメンバーが、どこにいてもリクエストや情報にアクセスできるようにしたもので、.NET と Power Platform の連携により実現した魔法のようなアプリケーション
- デジタル技術データブック: ブリヂストン タイヤ各製品の技術情報を含む総合情報サイトで、ユーザーに使いやすい設計と視覚的なフォーマットにより、さらに正確な情報を顧客に提供できるよう従業員を支援
- 価格設定プラットフォーム: 製品発注の際に、特別価格の設定条件の承認を効率化するアプリケーションで、店舗販売や営業を促進する際に活用

Power Platform を通じて、価値やイノベーションを促進できるようになったことで、今では従業員が、ビジネスの実情に即したアプリケーションを柔軟に設計し、誰でも使いやすく運用しやすい形で提供できるようになりました。また、新たなチーム メンバーにとっても、よりスムーズなオンボーディングを実現できるようになりました。

「大切なこと」への取り組み

開発された多用途のアプリケーションは組織全体で活用されており、ブリヂストンの効率に関するデータも良好で、それがさらなるアプリ開発への意欲を高めています。アバナードでは次のステップとして、Power Platform を推進する専門チーム (Center of Excellence) を通じて、ベスト プラクティスを発信したり、社内の労働安全衛生プログラムの設計にもアドバイスを提供するなどサポートを継続しています。

チームは引き続き Power Platform や市民開発の強みを拡大するとともに、Microsoft Copilot など、AI で駆動するテクノロジーの導入を推進して、Power Platform のすべてを活用できる環境の構築を目指しています。

ブリヂストンにとって「大切なこと」は単にテクノロジーを導入するだけではなく、従業員へのケアが十分であることを確認し、ツールを改善して日々の業務をよりスマートにすることです。イノベーションはこれで終了ではありません。

これからも従業員エクスペリエンスを強化し、これにより顧客へのスムーズなサービス提供へと繋げていきます。

ブリヂストン EMIA について

ブリヂストン EMIA は、ヨーロッパ、中東、インド、アフリカ地域を一挙にまとめる株式会社ブリヂストンの地域戦略ビジネス ユニットとして、タイヤ製造とサステナブル モビリティ ソリューションの分野で世界をリードする企業です。本拠地をベルギーのザベンテムに置き、20,000 名以上の従業員を擁して、地域内 40 カ国にまたがりビジネスを展開しています。



North America
シアトル

Phone +1 206 239 5600
America@avanade.com

South America
サンパウロ

AvanadeBrasil@avanade.com

Asia-Pacific
オーストラリア

Phone +61 2 9005 5900
AsiaPac@avanade.com

Europe
ロンドン

Phone +44 0 20 7025 1000
Europe@avanade.com

アバナードについて

アバナードは、マイクロソフトのエコシステムにおいて、革新的なデジタル サービス、クラウド サービス、アドバイザリー サービス、各業界向けソリューション、デザイン主導のエクスペリエンスを提供するリーディング プロバイダーです。26 カ国 60,000 名の専門家が、お客様とその従業員、そして その顧客の皆様に向けて、日々、「真のヒューマン インパクト」をもたらしています。アバナードは、アクセンチュア LLP とマイクロソフト コーポレーションによって 2000 年に設立されました。詳細は www.avanade.com/ja-jp をご確認ください。

©2025 Avanade Inc. All rights reserved. Avanade の名称およびロゴは、米国およびその他の国で登録されている商標です。他のブランドおよび製品名は、それぞれが所有する商標です。



Do what matters